



# 瑞浪超深地層研究所の 施設活用について

平成19年10月11日

独立行政法人日本原子力研究開発機構  
東濃地科学センター

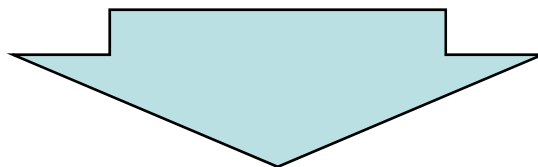


## これまでの経緯と報告事項

2

当面の施設活用方策（第4回跡利用検討委員会（H16年9月27日）でのご承認）

イベントなどで実施してきた活動を今後も継続  
深度100m毎に設置される予備ステージの活用などの具体策を策定し、本委員会に報告し、ご意見を頂きながら研究所施設の活用を進めていく



今回の委員会での報告事項

前回の本委員会（平成18年8月1日）以降の施設活用の状況  
深度200mの予備ステージの活用方策

## 研究成果の現場での展示

深度100mの予備ステージでは、地下水の水圧や水質の観測やボーリング孔にひずみ計を設置し観測を行っています。これらの研究成果を、現地にてパネルを設置し一般見学会等で広く紹介をしています。



100m予備ステージの様子



100m予備ステージのパネル展示の様子



## 地上施設における活動状況（見学・展示1/4）

瑞浪市地球回廊の原子力機構ブース（日本列島ひとまたぎ）での展示

立坑で採取した60m以深の岩石（10m毎に深度200mまでの岩石）に直接触ることができるとともに、地層（岩石）の特徴について説明をするパネルを設置し、より分かりやすい展示としました。



（瑞浪市地球回廊における立坑の岩石展示の様子）

## 東濃地科学センターホームページのリニューアル

東濃地科学センターの事業の紹介や研究成果、地下に関する学習コンテンツ、ライブカメラ映像(静止画)などを含め東濃地科学センターホームページをリニューアルしました。



HPアドレス: <http://www.jaea.go.jp/04/tono/index.htm>

### 【もぐら博士の部屋コンテンツ】



ライブカメラ映像(静止画)  
主立坑と換気立坑の防音ハウ  
ス内の映像を追加



研究所掘削岩石写真集  
主立坑から採取された岩石  
(60m以深)の紹介



もぐら博士の地下研究室  
地下に関する学習コンテ  
ンツを7つの部屋に分けて紹介



瑞浪超深地層研究所VR体験  
瑞浪超深地層研究所をパソ  
コン上で仮想体験



## 立坑壁面の表示システム

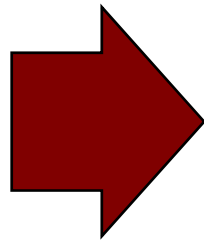
研究坑道掘削により得られた地層の壁面写真やスケッチを用いて、パソコン上で連続的に観察することができるシステムを開発し、研究所管理棟内に設置、ご覧いただけるようにしました。また、昨年度は100mの予備ステージの壁面のデータも追加しました。

立坑の壁面を観察してみよう!

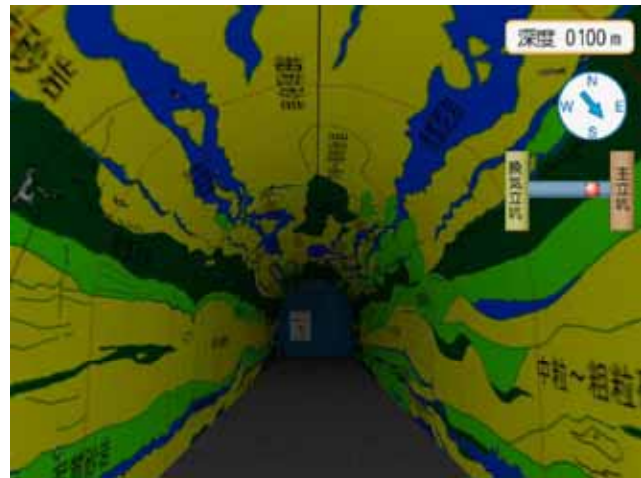



瑞浪超深地層研究所では「地下の深いところ」について研究を行うため、実際に立坑を掘削しています。ここでは、立坑内の壁面(坑壁)の様子を自由に見ることができます。それでは、立坑の壁面観察を体験してみましょう!

ジョイスティックのトリガーボタンを押すと立坑の壁面観察の体験が始まります。



【壁面画像(100m予備ステージ)】



【壁面スケッチ(100m予備ステージ)】

## 瑞浪超深地層研究所の見学会

瑞浪超深地層研究所では、一般の方々の見学を随時受付けております。また毎月1回の坑道内の見学会を定期的に行ってまいりました。平成18年度は、約2,100名の方々にご見学をいただきました。



毎月1回の坑道内の一般見学会の様子



## 地層・断層ツアー及び研究所の見学ツアーの実施

「おもしろ科学館2006 inみずなみ」において、平成15年度より継続して実施している瑞浪市民公園“へそ山”付近の地層の露頭を活用した地層及び断層に関する見学ツアー及び研究所の見学ツアーを開催しました。また、本年度も昨年に引続き「おもしろ科学館2007inみずなみ」(11/2～4)にて同様に見学ツアーを開催します。



昨年度の地層・断層ツアーの様子  
(8月25～27日 計51名参加)



昨年度の研究所見学ツアーの様子  
(8月25～27日 計72名参加)



## 児童・生徒を対象とした地層に関する学習支援

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の学習支援として、研究所での研究内容の紹介と現場の見学をしていただきました。



平成19年5月：岐阜県立恵那高校（80名）



平成19年8月：名古屋市立向陽高校（49名）



平成19年8月：私立静岡北高校（55名）

文部科学省が進める科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクールとして指定し、高等学校及び中高一貫教育校における理科・数学に重点を置いた取組を大学等との密接な連携の下で推進し、将来の国際的な科学技術系人材の育成に資する。



## 今後の進め方

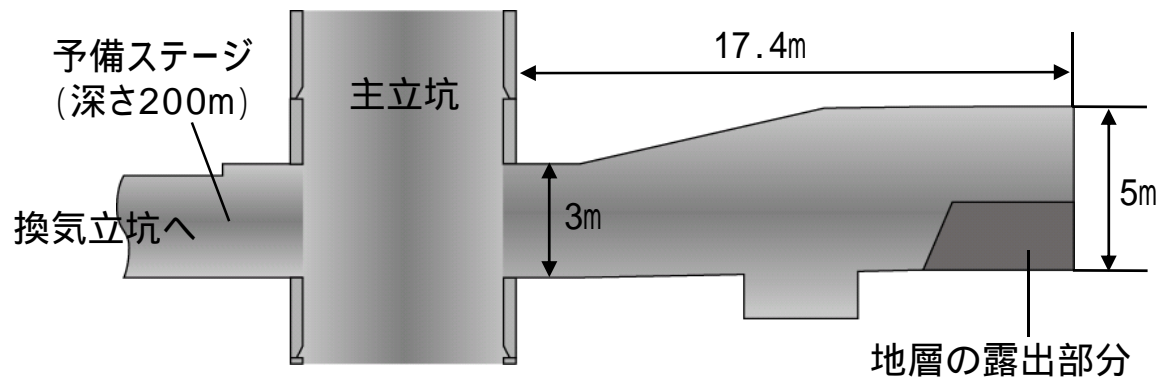
10

200m予備ステージ及びボーリング横坑での研究終了後に、これまでの検討結果を踏まえた活用方策の整備を進めてまいります。



深度200mのボーリング横坑での地質の露出部分

主立坑側のボーリング横坑の奥では地層の露出部分を設け、実際の地層を見て触れることができるように整備する計画です。



【主立坑側のボーリング横坑イメージ図】



地層の露出部分の様子



地質観測窓のイメージ